

■赤松則村(円心) 武將。足利尊氏に従い室町政権成立に尽力、禅僧との交流・寺の創建などで禅宗の定着にも貢献。

あかまつのりむら

無学祖元来日1279= 村上源氏の出の播磨佐用荘地頭の傍流・赤松茂則の子に生れ、

元寇弘安の役1281= 2歳：
嫡男として地頭職を受継ぐ。

北条時宗没・1284= 5歳：

・・・・・・1288= 9歳：

平禅門の乱・1293=14歳：

永仁徳政令・1297=18歳：

・・・・・・1305=26歳：「この頃、雪村友梅が京都で則村と出会い、「貴人の相あり」と観じた。
・・・・・・1306=27歳：

・・・・・・1315=36歳：

後醍醐天皇・1318=39歳：

正中の変・・・・1324=45歳：禅僧との交流も深く、
北条氏外執権1326=47歳：赤松家被官出身で姉の子だった宗峰妙超の檀那として多大の援助を行って、
*大徳寺の創建に関与し、

元弘の乱・・・・1331=52歳：
・・・・・・1332=53歳：三男・則祐から護良親王の北条氏追討の令旨を聞くと、則祐を親王に従わせ、
鎌倉幕府滅亡1333=54歳：自ら挙兵して播磨国の同志と東上、足利尊氏らと協力して六波羅探題を陥落させるなど、*建武政権の成立
に力を尽くし、播磨守護職に任じられたが、
二条河原落書1334=55歳：早くも播磨守護職を解任され、佐用村地頭職のみ安堵されるなど、「報いられるところ少なく、
中先代の乱・1335=56歳：足利尊氏が鎌倉に下るに際して、次男の貞範を従わせ、
南北朝分裂・1336=57歳：*足利尊氏が建武政権にそむいて九州下向した際に、その与党となり、尊氏を追って西下する新田義貞軍の
攻撃を防ぎ、尊氏が反撃上洛するに際して、直義軍に加わって、湊川合戦で楠木正成を破った。室町幕府創
立の功で、播磨守護職に補任され、2子も攝津・美作守護となって、のちの山陽有力大名の基盤を築いた。
・・・・・・1337=58歳：播磨赤穂郡菅縄城下に、雪村友梅を開山として法雲寺を開創した。
南軍と戦いながら、寺院の整備を行い、播磨では守護代に柏原氏、宇野氏ら一族を任じ、郡ごとに郡使を配
して定役夫の譴責、徴収を行わせるなど支配機構を整備した。
五山制定・・・・1342=63歳：ようやく反乱軍を鎮圧。
・・・・・・1345=66歳：雪村が死去。
・・・・・・1348=69歳：*建仁寺にその塔所・大竜庵を建立し、それに隣接して私邸を建てたが、
直義方についた足利直冬を追討するため軍を編成している最中に、
観応の擾乱始1350=71歳：京都七条邸に没した。
大竜庵に埋葬された。